

環境教育・環境学習の推進

～市民のライフスタイルの改革に向けた取組の推進～

【目標：環境教育・環境学習の場や機会の充実、人材育成等の基盤整備】

◆◆◆◆◆ 地域環境リーダー育成講座 ◆◆◆◆◆



研修の成果を発表する受講生

本市では、環境保全等に関する市民の自主的な活動を担う人材を育成するために1995年度から「地域環境リーダー育成講座」を開催しています。講座では、環境局職員や外部講師を招いて環境問題の現状や課題、リーダーとなるための必要知識やノウハウを学ぶとともに、受講生同士で、関心のある環境問題の現状や課題を調査・研究し、課題解決に向けて方策をとりまとめる等を通じて、人と協働で物事を進めていく楽しさや大切さを学びました。

2006年度の地域環境リーダー育成講座（第9期）では30名の方が講座を無事修了するとともに、修了生有志で講座での研究成果を外部に向けて発表する場や地域環境リーダー講座修了生との交流の場としてのイベントの開催に向けて、準備に取り組みました。

◆◆◆◆◆ 出前ごみスクール ◆◆◆◆◆

本市では、循環型社会の構築を目指し、さまざまな機会を通じて環境学習・啓発活動を行っています。

その中の一つ「出前ごみスクール」は、小学校の社会科や総合学習の時間に生活環境事業所の職員を派遣し、ごみの減量化やリサイクルの推進についてスライドやごみの分別ゲーム、車の内部が見えるごみ収集車（スケルトン車）によるごみ収集の実演を通じて、体験的に学習できるものです。

出前ごみスクールは2005年度に試行で取り組み、2006年度から本格実施した結果、開催回数は54回を数え、約4500人の参加者がありました。参加した児童からは「ごみの減量について楽しく学ぶことができた」、「ごみを分別することがリサイクルにつながるということがわかった」等の声も多く大好評でした。



スケルトン車によるごみ収集の実演

◆◆◆◆◆ 地球に美味しい「エコ・クッキング」 ◆◆◆◆◆

地球温暖化や水・大気汚染など、昨今取り上げられている地球環境問題の解決のためには、国レベルの取組はもとより個人レベル（生活）での取組が大変重要となっています。

本市では、2006年度から市民ボランティア（調理サポーター）と事業者、行政の三者連携により、『地球に美味しい「エコ・クッキング」』講座を、小学校PTA関係者を対象に実施しました。この講座は、各個人が「食」を通じ、「身近な題材で、体験的に環境の大切さを楽しく考える」というコンセプトのもと、買い物から料理、片付けにいたるまでの一連の流れを通して、環境に配慮した食生活の大切さを学んでもらうためのものです。

この「エコ・クッキング」は授業で取り入れている小学校もあり、親子で環境について話し合ったり、ライフスタイルを見直す機会にもつながることが期待されます。



調理サポーターによるエコ・クッキングの実演